

2024年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年11月7日

上場会社名 東京インキ株式会社

上場取引所 東

コード番号 4635 URL <https://www.tokyoink.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 堀川 聡

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理部門長兼理財部長 (氏名) 中村 真次 TEL 03-5902-7652

四半期報告書提出予定日 2023年11月9日 配当支払開始予定日 2023年12月4日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 2023年11月21日開催予定

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	21,267	2.5	253		499	239.2	383	236.2
2023年3月期第2四半期	20,745	2.6	109		147	71.5	113	72.3

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 1,001百万円 (316.8%) 2023年3月期第2四半期 240百万円 (48.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	146.07	
2023年3月期第2四半期	43.44	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第2四半期	50,104	28,056	55.6	10,632.86
2023年3月期	47,797	27,265	56.7	10,333.05

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 27,879百万円 2023年3月期 27,093百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期		80.00		80.00	160.00
2024年3月期		40.00			
2024年3月期(予想)				60.00	100.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 2023年3月期 第2四半期末配当金の内訳 普通配当40円00銭 特別配当40円00銭

(注) 2023年3月期 期末配当金の内訳 普通配当40円00銭 特別配当40円00銭

(注) 2024年3月期(予想) 年間配当の内訳 普通配当80円00銭 創立100周年記念配当(期末)20円00銭

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	47,400	9.2	1,000		1,130	76.4	870	47.1	331.77

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期2Q	2,725,758 株	2023年3月期	2,725,758 株
期末自己株式数	2024年3月期2Q	103,785 株	2023年3月期	103,688 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期2Q	2,622,048 株	2023年3月期2Q	2,622,398 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により予想数値と大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料6ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	5
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	6
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	7
(1) 四半期連結貸借対照表	7
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	9
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	9
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	10
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	11
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	12
(セグメント情報)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（2023年4月1日～2023年9月30日）におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症の位置付けが第5類に移行したことにより、社会経済活動正常化への動きが一段と進み、企業業績・個人消費ともに緩やかな回復基調が継続されました。一方で、原材料価格の高止まり、円安とエネルギーコスト上昇等による物価高は依然として続いており、今後もウクライナ情勢の長期化や世界的な金融引き締めによる影響が懸念され、景気の先行きは依然不透明な状況が継続しております。

このような状況の中、当社グループは、競争力強化と顧客満足の向上および事業領域の拡大を進めたことに加え、製品の販売価格改定が一定程度進捗したことにより、売上高は前年同四半期比で増加いたしました。また、営業利益は売上高が増加したことに加え、さまざまなコスト削減活動を実施した結果、同様に増加いたしました。

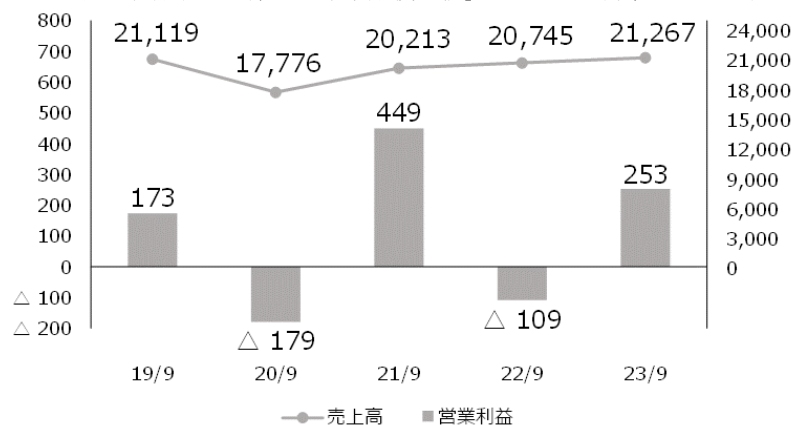
この結果、下記の表に記載のとおり、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高が212億6千7百万円で前年同四半期比5億2千2百万円の増収（2.5%増）、営業利益は2億5千3百万円で前年同四半期比3億6千3百万円の増益（前年同四半期は1億9百万円の営業損失）、経常利益は円安による為替評価増等により4億9千9百万円で前年同四半期比3億5千1百万円の増益（239.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は3億8千3百万円で前年同四半期比2億6千9百万円の増益（236.2%増）となりました。

今後も日本経済の緩やかな回復基調は継続すると見込んでおりますが、原油価格や為替の動向等による当社グループの業績への影響が不透明な状況であるため、引き続き市況を注視しながら対応してまいります。

(単位：百万円)

	23年3月期 第2四半期	24年3月期 第2四半期	増減額	増減率
売上高	20,745	21,267	522	2.5%
営業利益又は営業損失（△）	△109	253	363	—
経常利益	147	499	351	239.2%
親会社株主に帰属する四半期純利益	113	383	269	236.2%

「売上高・営業利益の第2四半期業績推移」 (単位：百万円)



次にセグメント別に概況をご報告いたします。

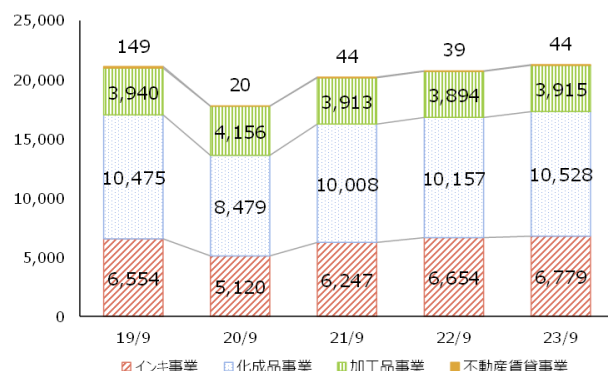
当社グループの報告セグメントはインキ事業、化成品事業、加工品事業、不動産賃貸事業から構成されており、当第2四半期の売上高とセグメント利益の構成は以下のとおりであります。

詳細につきましては、「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (セグメント情報)」をご参照ください。

第2四半期業績推移

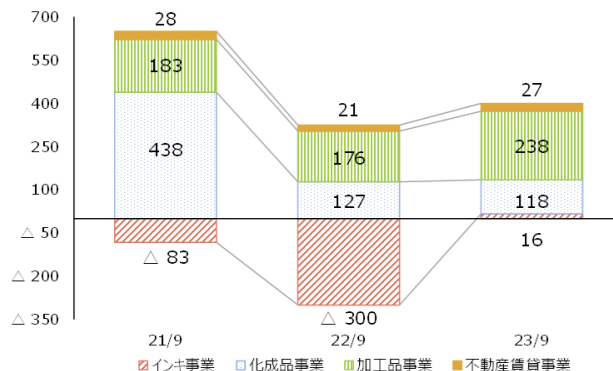
セグメント売上高

(単位：百万円)



セグメント利益又は損失 (△)

(単位：百万円)



(インキ事業)

オフセットインキおよび印刷用材料は、産業構造の変化に伴う市場縮小が継続する中、行動制限解除に伴い各種イベント等が増加したことで、商業印刷において需要回復が見られました。そのような状況下、原材料価格およびエネルギーコストの上昇に対して製品販売価格改定が一定程度進捗したことにより、前年同四半期に比べ売上高は増加いたしました。また、売上高の増加に加え、前期末に実施した固定資産の減損処理に伴う減価償却費の減少等により、利益は改善いたしました。

グラビアインキは、新規顧客の開拓および製品販売価格改定が進捗したものの、物価高に伴う消費意欲低下の影響等により、売上高は前年同四半期並みになりました。また、環境に配慮した製品や高利益率製品である機能性インキが伸長したことで、利益は改善いたしました。

インクジェットインキは、欧米向け受託製品の需要が悪化していた前年同四半期に比べ若干の回復が見られたものの、建材用途等の自社製品が低調に推移したこと等により、売上高は前年同四半期並みになりました。また、販売構成差により、利益は減少いたしました。

この結果、下記の表に記載のとおり、インキ事業の当第2四半期連結累計期間の業績は、前年同四半期に比べ増収となり、利益は損失を計上した前年同四半期から黒字転換いたしました。

今後のインキ事業につきまして、オフセットインキは、産業構造の変化に伴う市場縮小が今後も継続することが考えられますので、製品開発および重点顧客への販売活動を強化し、今後更なる事業構造改革に努めてまいります。グラビアインキは軟包装分野の需要が堅調に推移し、インクジェットインキは徐々に需要が回復し、中長期的には産業用途の需要が今後も拡大することが見込まれますので、製品開発および販売活動を強化してまいります。また、事業全体を通じて収益力向上に向けて製品ポートフォリオの再構築を進めてまいります。

(単位：百万円)

	23年3月期 第2四半期	24年3月期 第2四半期	増減額	増減率
売上高	6,654	6,779	125	1.9%
セグメント利益又は損失 (△)	△300	16	317	—

(化成品事業)

自動車用マスターバッチおよび樹脂コンパウンドは、半導体不足の緩和に伴う国内自動車生産台数増加の影響が継続したことにより、前年同四半期に比べ売上高は大きく増加いたしました。

包装材・容器用マスターバッチは、物価高に伴う消費意欲低下の影響および環境対応の影響等により、前年同四半期に比べ売上高は減少いたしました。

この結果、下記の表に記載のとおり、化成品事業の当第2四半期連結累計期間の業績は、原材料価格およびエネルギーコストの上昇に対して製品販売価格改定が一定程度進捗したことにより、前年同四半期に比べ増収となりました。一方、タイ国連結子会社が好調であったものの、包装材・容器用マスターバッチの減収影響が大きく、減益となりました。

今後の化成品事業につきまして、自動車用マスターバッチおよび樹脂コンパウンドは、国内自動車生産回復の継続により需要が堅調に推移することが見込まれますので、製品開発および販売活動を強化してまいります。包装材・容器用マスターバッチは、環境対応の加速化による市場縮小の継続が考えられますが、環境に配慮した製品需要の高まりが期待できますので、対応した製品開発および販売活動を強化してまいります。また、事業全体を通じてサーキュラーエコノミーの実現に向けた取り組みを進めてまいります。

(単位：百万円)

	23年3月期 第2四半期	24年3月期 第2四半期	増減額	増減率
売上高	10,157	10,528	371	3.7%
セグメント利益	127	118	△8	△6.6%

(加工品事業)

ネトロン®(注)は、一部の軟包装用途が低調に推移したものの、工業材料である水処理用資材の輸出需要が引き続き堅調に推移した結果、売上高は前年同四半期並みになりました。一方、原材料価格およびエネルギーコストの上昇に対して製品販売価格改定が十分ではなく、利益は減少いたしました。

一軸延伸フィルムは、ダンボール用途が低調であったものの、食品包装用途が堅調に推移いたしました。また、原材料価格およびエネルギーコストの上昇に対して製品価格改定が進捗したことにより、前年同四半期に比べ売上高は増加いたしました。利益は前年同四半期並みになりました。

土木資材は、昨年発生した豪雨災害の復興需要の影響等により、防災・減災用途に使用されるジオセル工法の採用が増加したことで、前年同四半期に比べ売上高および利益ともに増加いたしました。

農業資材は、燃油価格上昇の影響により保温資材等の高機能製品が好調でありましたが、国内農業における産業構造の変化に伴う市場縮小により汎用製品の需要が低迷した影響が大きく、前年同四半期に比べ売上高は減少いたしました。一方、高利益率製品の比率が向上したことにより、利益は前年同四半期並みになりました。

この結果、下記の表に記載のとおり、加工品事業の当第2四半期連結累計期間の業績は、前年同四半期に比べ増収となり、高利益率製品比率の向上等により増益となりました。

今後の加工品事業につきまして、ネトロン®の水処理用資材は、市場拡大の継続により需要の高まりが見込まれ、土木資材は、多発している豪雨等の災害に対応するため国が「国土強靱化計画」を推進していることから、防災・減災用途製品の需要の高まりが見込まれますので、生産能力、製品開発および販売活動を強化してまいります。包装資材や農業資材は、環境対応の加速化および産業構造の変化に伴う市場縮小の継続が考えられますが、環境に配慮した製品需要の高まりが期待できますので、対応した製品開発および販売活動を強化してまいります。

(注) ネトロン®は三井化学株式会社の登録商標です。

(単位：百万円)

	23年3月期 第2四半期	24年3月期 第2四半期	増減額	増減率
売上高	3,894	3,915	20	0.5%
セグメント利益	176	238	61	35.0%

(不動産賃貸事業)

不動産賃貸事業は、賃貸戸建て住宅「パレットパークタウン」および本社ビル賃貸オフィスの稼働が堅調に推移いたしました。

この結果、下記の表に記載のとおり、不動産賃貸事業の当第2四半期連結累計期間の業績は、前年同四半期に比べ増収増益となりました。

(単位：百万円)

	23年3月期 第2四半期	24年3月期 第2四半期	増減額	増減率
売上高	39	44	4	12.3%
セグメント利益	21	27	6	29.1%

(2) 財政状態に関する説明

(単位：百万円)

区分	2023年3月期	2024年3月期 第2四半期	増減額	増減率
資産	47,797	50,104	2,307	4.8%
負債	20,531	22,047	1,515	7.4%
純資産	27,265	28,056	791	2.9%

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は501億4百万円となり、前連結会計年度末に比べ23億7百万円増加いたしました。主な要因は、現金及び預金の増加6億1百万円、受取手形の増加2千8百万円、電子記録債権の増加6億7千6百万円、売掛金の減少3千5百万円、棚卸資産の増加3億9千4百万円、有形固定資産の減少2千3百万円及び投資有価証券の時価上昇等に伴う増加5億7千万円等によるものです。

(負債)

負債合計は220億4千7百万円となり、前連結会計年度末に比べ15億1千5百万円増加いたしました。主な要因は、支払手形及び買掛金の増加11億9百万円、短期借入金の増加5億3千万円、1年内返済予定の長期借入金の減少1億8千1百万円、未払法人税等の増加8千3百万円、未払消費税等の増加6千3百万円および長期借入金の減少3億3千9百万円および繰延税金負債の増加3億1千万円等によるものです。

(純資産)

純資産の部は280億5千6百万円となり前連結会計年度末に比べ7億9千1百万円増加いたしました。主な要因は、利益剰余金の増加1億7千3百万円及びその他の包括利益累計額の増加6億1千2百万円等によるものです。

(キャッシュ・フローの状況)

(単位：百万円)

区分	2023年3月期 第2四半期	2024年3月期 第2四半期	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	117	1,226	1,108
投資活動によるキャッシュ・フロー	△489	△440	49
フリー・キャッシュ・フロー	△372	785	1,158
財務活動によるキャッシュ・フロー	743	△238	△982
現金及び現金同等物の期首残高	3,622	3,374	△248
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,227	3,974	△252

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は39億7千4百万円で、前連結会計年度末に比べ6億円の増加(17.8%増)となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、12億2千6百万円の収入となりました(前年同四半期は、1億1千7百万円の収入)。主な要因は、税金等調整前四半期純利益5億6千3百万円、減価償却費6億4千7百万円が計上され、売上債権の増加5億9千1百万円、仕入債務の増加11億3百万円、棚卸資産の増加3億8千2百万円等によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、4億4千万円の支出となりました(前年同四半期は、4億8千9百万円の支出)。主な要因は、有形固定資産の取得による支出5億2百万円、無形固定資産の取得による支出1千3百万円、投資有価証券の売却による収入1億2千2百万円等によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、2億3千8百万円の支出となりました(前年同四半期は、7億4千3百万円の収入)。主な要因は、短期借入金の純増額5億3千万円、長期借入金の返済による支出6億4千万円、配当金の支払額2億9百万円等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想に関しましては、日本経済の緩やかな回復基調が見込まれますが、原油価格や為替の動向等が当社グループの業績へ与える影響が不透明な状況であることから、現時点において、前回発表数値(2023年5月15日発表)から変更はありません。

なお、業績予想につきましては、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものです。実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。今後、連結業績予想に修正の必要が生じた場合には、速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,375	3,976
受取手形	1,305	1,334
電子記録債権	4,530	5,206
売掛金	9,798	9,763
商品及び製品	4,789	5,128
仕掛品	2,090	2,050
原材料及び貯蔵品	2,614	2,711
その他	405	302
貸倒引当金	△10	△9
流動資産合計	28,899	30,463
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,577	5,532
機械装置及び運搬具（純額）	2,592	2,589
工具、器具及び備品（純額）	334	351
土地	2,736	2,744
リース資産（純額）	113	110
建設仮勘定	693	696
有形固定資産合計	12,048	12,025
無形固定資産		
その他	536	488
無形固定資産合計	536	488
投資その他の資産		
投資有価証券	4,071	4,641
繰延税金資産	27	21
退職給付に係る資産	662	822
その他	1,601	1,697
貸倒引当金	△51	△56
投資その他の資産合計	6,312	7,127
固定資産合計	18,897	19,640
資産合計	47,797	50,104

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,713	10,823
短期借入金	3,560	4,090
1年内返済予定の長期借入金	1,192	1,011
リース債務	70	62
未払法人税等	21	105
賞与引当金	404	395
未払消費税等	88	151
未払費用	1,000	923
その他	448	481
流動負債合計	16,498	18,044
固定負債		
長期借入金	2,631	2,292
リース債務	99	94
繰延税金負債	806	1,117
役員退職慰労引当金	223	223
退職給付に係る負債	82	89
その他	188	185
固定負債合計	4,033	4,002
負債合計	20,531	22,047
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,246	3,246
資本剰余金	2,526	2,526
利益剰余金	20,524	20,697
自己株式	△263	△264
株主資本合計	26,033	26,206
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	512	943
繰延ヘッジ損益	0	—
為替換算調整勘定	463	652
退職給付に係る調整累計額	85	77
その他の包括利益累計額合計	1,060	1,673
非支配株主持分	171	177
純資産合計	27,265	28,056
負債純資産合計	47,797	50,104

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	20,745	21,267
売上原価	18,027	18,167
売上総利益	2,718	3,099
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	735	707
賞与	79	73
福利厚生費	178	172
減価償却費	155	129
賞与引当金繰入額	192	150
退職給付費用	14	24
通信交通費	86	90
荷造及び発送費	584	596
その他	800	902
販売費及び一般管理費合計	2,827	2,846
営業利益又は営業損失(△)	△109	253
営業外収益		
受取利息	1	12
受取配当金	74	74
出資分配益	103	6
為替差益	30	133
その他	78	46
営業外収益合計	289	273
営業外費用		
支払利息	18	14
その他	14	13
営業外費用合計	32	28
経常利益	147	499
特別利益		
投資有価証券売却益	50	82
特別利益合計	50	82
特別損失		
固定資産除売却損	13	11
投資有価証券評価損	—	6
支払補償金	21	—
特別損失合計	35	18
税金等調整前四半期純利益	161	563
法人税、住民税及び事業税	55	58
法人税等調整額	△13	116
法人税等合計	41	175
四半期純利益	120	388
非支配株主に帰属する四半期純利益	6	5
親会社株主に帰属する四半期純利益	113	383

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	120	388
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△247	431
繰延ヘッジ損益	—	△0
為替換算調整勘定	396	190
退職給付に係る調整額	△29	△8
その他の包括利益合計	119	612
四半期包括利益	240	1,001
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	231	995
非支配株主に係る四半期包括利益	8	6

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	161	563
減価償却費	746	647
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△0	3
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	2	6
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	△205	△171
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△9	△9
受取利息及び受取配当金	△76	△87
支払利息	18	14
有形固定資産処分損益 (△は益)	13	11
投資有価証券売却損益 (△は益)	△50	△82
売上債権の増減額 (△は増加)	192	△591
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△623	△382
仕入債務の増減額 (△は減少)	220	1,103
その他	△246	56
小計	145	1,082
利息及び配当金の受取額	76	85
利息の支払額	△21	△14
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△83	72
営業活動によるキャッシュ・フロー	117	1,226
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△0	△0
有形固定資産の取得による支出	△690	△502
無形固定資産の取得による支出	△26	△13
投資有価証券の売却による収入	89	122
その他	138	△46
投資活動によるキャッシュ・フロー	△489	△440
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	1,670	530
長期借入れによる収入	—	120
長期借入金の返済による支出	△774	△640
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△46	△38
配当金の支払額	△105	△209
その他	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	743	△238
現金及び現金同等物に係る換算差額	233	53
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	604	600
現金及び現金同等物の期首残高	3,622	3,374
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,227	3,974

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					合計
	インキ 事業	化成品 事業	加工品 事業	不動産賃貸 事業	計	
売上高						
外部顧客への売上高	6,654	10,157	3,894	39	20,745	20,745
セグメント間の内部売上高又は振替高	0	27	—	—	28	28
計	6,654	10,184	3,894	39	20,773	20,773
セグメント利益又は損失(△)	△300	127	176	21	24	24

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差額調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	24
全社費用(注)	△135
その他の調整額	0
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△109

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間（自 2023年4月1日 至 2023年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					合計
	インキ 事業	化成品 事業	加工品 事業	不動産賃貸 事業	計	
売上高						
外部顧客への売上高	6,779	10,528	3,915	44	21,267	21,267
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	29	—	—	29	29
計	6,779	10,557	3,915	44	21,296	21,296
セグメント利益	16	118	238	27	401	401

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差額調整に関する事項）

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	401
全社費用（注）	△146
その他の調整額	△1
四半期連結損益計算書の営業利益	253

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。